活性化センターからのお知らせ

カボチャとキャベツのニッケル過剰障害

和寒町の剣淵川支流のペオッペ川は、幌加内山地を源流としています。地質は、蛇紋岩（じゃもんがん）であるため、クロームやニッケル、マグネシウムが他の岩石より多く含まれています。蛇紋岩は岩石の表面が蛇のような紋様のために、そのように呼ばれています。

蛇紋岩に含まれる成分でマグネシウムとニッケルは作物の栄養に必須の養分です。しかし、ニッケル過剰では作物の生育に障害が発生します。

当センターには、ニッケルを高精度で分析できる原子吸光光度計が設置され、常時稼働しています。近隣町村には設置されていません。

写真１

症 状

ニッケル過剰障害の発生しやすい作物は、和寒町特産の「カボチャ」「キャベツ」そして大豆、秋まきコムギです。発生しにくい作物は、水稲、バレイショ、トウモロコシです。

カボチャとキャベツのニッケル過剰症状は、葉脈が黄化して枯死するため褐色になったり、枯死した部分が抜け落ちて穴あき状態になります。（写真１）

さらに、カボチャでは果実が変色して黄化～赤黄化します。（写真２）秋まき小麦では葉脈間が、白色化して筋状に見えます。

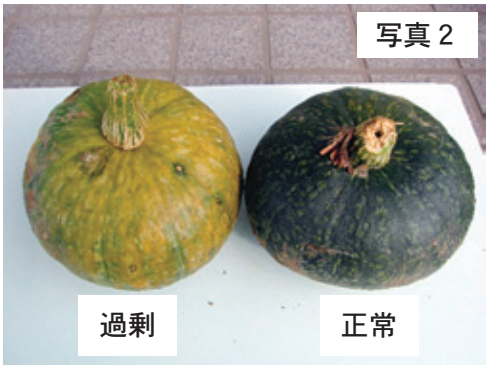

写真２

対 策

対策は、炭カルを施用してｐＨ（ピーエイチ）6.5 以上、ｐＨ７以下に矯正することにより、ニッケルの溶出を抑えることができます。しかし、過剰な炭カル施用では土壌がアルカリ性となり別の障害が発生します。

根本的な対策には、ニッケルの含まれていない土壌を厚く客土することですが、費用が高額です。その他の対策には、堆肥や緑肥などの有機物を施用して土壌の緩衝力を高めることも有効です。

※家庭菜園でも、山土や川土を持ってきて畑に入れた後、生育が悪い！！
なんてことはないですか？原因の１つにニッケルが関係しているかも知れません！！

お問合せは農業活性化センター（TEL32-2010）まで

こんにちは　農業委員会です！

農業委員会総会の会議結果は下記のとおりです

●第２回　農業委員会総会

日時・場所　２月 19 日（金）午後１時 30 分　役場第２会議室
出 席 委 員　10 名
議　　件　１．農地所有適格法人報告　12件
　　２．農用地の賃貸借の解除　１件
　　３．農用地の売買　１件
　　４．農用地の賃貸借　７件

お問合せは農業委員会（TEL32-2435）まで